

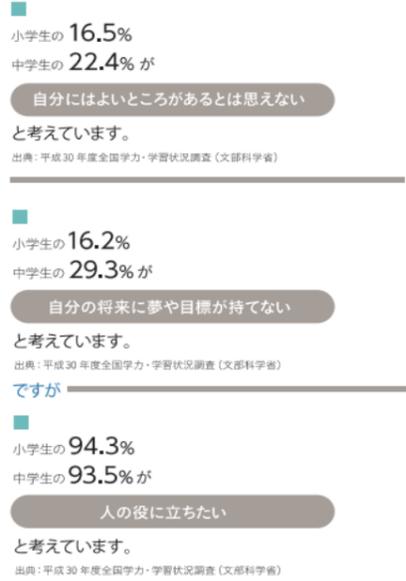
子どもたちの意識調査から何を感じますか？

ここに文部科学省が学校で行った「平成30年度の意識調査」の抜粋があります。(かながわの青少年2019より)

「人の役に立ちたい」と90%以上の子どもたちが考えてます。こんな時だからこそ、誰かのためになる小さな奉仕活動が求められているかもしれません。答えはいくつもあると思います。小さな「ありがとう」の言葉を積み重ねていく事で、社会と子どもたちをつなげ[命の大切さ]や[自分たちの存在の大切さ]に気がつけてあげることができるのではないかと思います。[自己肯定力]を育むには、まずは一緒に考えてみる事。そして一つ一つ小さなことから始めることに意義があるのではないのでしょうか。



子どもたちの気持ちから
これからの子ども会のことを
少し考えてみませんか？



【ごあいさつ】

新型コロナウイルス感染症の影響により、人々の命と健康が危険にさらされる一方で、新しい働き方が進み、私たちを取り巻く環境は大きく変化してきています。子どもたちの日常や学校での生活様式だけでなく「学び方」も変わりつつあります。この状況に戸惑い、かつての何気ない日々や時間がかけがえのないものだと感じているでしょう。各ご家庭では、家族の健康と生活を守ることに尽力しながら、経験したことのない自粛期間をいかに過ごせばいいのかわからないことと悩んでいます。子ども会も従来どおりの活動が難しい状況となり、これからの子ども会活動をどうすればいいのかわからない、聴く人も聴く所も無く役員さんは不安だと思っています。市子連からは「今は少しでも不安であれば、無理しなくてもいい」そうお伝えしてきました。

ではこれからはどうでしょうか。

少しずつ感染拡大が収束し【with コロナのこれからの子ども会活動に関して、どう再開していけばいいだろう】【思うようにできない時期を過ごし、来期へどうバトンを渡せばいいのだろう】そう悩んでいませんか。また地域の皆様も、殆どの行事が中止または変更を余儀なくされ、これからの地域活動と子ども会がどうつながることができるのか、ご心配のことと存じます。

私たちはこれからの活動について、改めて子ども会とは何なのか、何のための組織で何ができるのか議論を重ねました。その中で「子ども会とは子どもたちの成長のための組織」であり「子どもたちが友だちと遊びながら楽しく地域社会を学ぶことができる組織」であること。子ども会育成会の役員は学校の先生や保護者に代わって、子ども会の子供たちを見守る役目を担っていることを再認識しました。

無理に行事をすすめることが難しいこのような時だからこそ、この難局を転機ととらえ、今後変化していくことが求められているのではないのでしょうか。またこれからは、状況の変化により「柔軟に中止や変更ができる環境作り」「それぞれが体調に責任を持ち参加する体制」「何でも話し合い、協力し理解できる関係を育むこと」「お互いの環境を理解しながら、寛容に話し合い進めていく」ことが望まれます。

広報10月号では、「子ども会を見つめ直すきっかけ」としていただきたく、「子どもたちがやりたいこと」をメッセージとしてまとめ、これからどんな活動ができるか事例やヒントをご紹介します。



今回のことで私たちは「連絡協議会としてつながる意味」を考え、個々に責任を感じて孤立し悩むのではなく、相談しあえる繋がりを持ち、一緒に考えていくことができる組織作りが大切だと改めて感じています。広報紙一面の空の写真は、共に同じ方向を見て考えていきたいという、市子連からのメッセージを込めています。

新型コロナウイルスが、私たちや子どもたちにとって、単なる危険や脅威だけではなく、より良い未来につながる大きな転機となるよう願っています。市子連役員一同

子ども会ホームページは、ここ↑

【編集後記】 困っていること、悩んでいること、こんなこと考えた等、いろいろな意見をお寄せください。ホームページも活用してください。メッセージを出し合い一緒に考えていきましょう。青少年課のメールアドレス seisyounen@isehara-city.jp QRコードはここ→→→

子ども会への入会希望・ご質問・お問い合わせは、各単位子ども会・地区子ども会または、青少年課までお問い合わせください。伊勢原市子ども会育成会連絡協議会 事務局 伊勢原市子ども部青少年課 伊勢原市役所5階5番窓口 TEL: 0463-94-4647



令和2年度 子ども会 いせはら

何もできない・・・

そんな今だから

一緒に考えましょう

これからの子ども会にできること

みんな悩んでいます

だから

同じ空の下、一緒に考えてみませんか

何ができるのか、何をすべきなのか

令和2年度 10月号広報紙

発行：伊勢原市子ども会育成会連絡協議会（市子連）

子ども会活動の新8ヶ条

- こ えの大きさに注意しよう
- ろ んぐよりしょーと〜活動時間は短めに
- な るべく両手を広げてキョリをとろう
- に っこいえがおでアイコンタクト
- ま すくでふせごうせき・クシャミ
- け んおん&体調チェック
- る んるんうたってきっちり手洗い
- な かまを守るのは一人一人の心がけ



令和2年度市子連役員（敬称略）

会長	磯部 千津子	(大田)
副会長	木村 由紀子	(伊勢原)
	秋山 修一	(高部屋)
書記	矢田 和美	(成瀬)
	山口 薫	(竹園)
会計	茂木 愛子	(大田)
監事	今野 恵巳子	(高部屋)
	沼島 理恵	(緑台)
理事	鈴木 五美	(高部屋)
	新實 正樹	(大山)
	八島 満雄	(石田)



with コロナ 困っていることは何ですか？

○コロナが収束する先が見えず、単子の会長や役員の仕事や不安・負担を感じます。

○制限のある中で、積極的に子どもをイベントに参加させたいとは思えない。

○集まる事を避けるしか私達には出来ないのではないかと。

★負担を感じる活動を、今すぐやる必要はありません。安心して活動できるようになったらやりましょう！

★子どもたちの健康が第一ですから、状況に応じて最低限の活動や、活動を自粛するのも良いと思います。

★気兼ねなく集まれる元通りの生活まで、自粛することも一つですが、集まらずにできる活動をしている子ども会もあります。

○行事ができなくなり、会費について悩んでいる。どのように使うべき？

○人との接触をできるだけ少なくしてできる、活動方法ありますか？

○子ども達の事を考えると多少の行事が必要。ガイドラインを作成してほしい。

★これからできる行事でプレゼントしたいと計画したり、今でもできることで活動している子ども会もあります。

★七夕飾りの材料を配布し作成してもらい、写真を撮った。

★ラジオ体操では“with family”として家庭で体操をし、それをオンラインツールにのせる。

★マスク作成の材料を各家庭に配布作成してもらい、地域のお年寄りに寄付をしました。(他市)

★いつもと少し違うけどこれもありかな？というような活動ができればいいと思います。

★各家庭で制作できる材料を購入して、配布しています。

★オンラインを使い、少しでも子どもたちが楽しめるような、工夫も必要だと思います。

★行事は中止しましたが、学校と相談し、七夕飾りに使用する飾り竹を大子連で学校に用意して、学校行事にて飾り付けを行っていただきました。

★ご家庭でできるレクゲームはこちら↓



神奈川県 県子レンジャー



神奈川県立 青少年センター 指導者育成課

★チェックリストを作りました。活動に合わせて、ぜひ活用してください



○我慢している子ども達にポジティブな発信が欲しい。

★王道のしりとりをいろんなテーマを設けてやってみる。

★風呂敷でエコバックの作り方の動画配信。

★折り紙の折り方の動画配信。

★コロナが収束したらやりたいことを、子どもと一緒に考えてみる。

子どもたちに聞きました♪ 何がしたい？

おじいちゃん
おばあちゃん
に会いたい

球技大会

楽しくお喋り
しながら
給食食べたい

ボウリング

お祭り
おみこし
お囃子

ドッチボール

カラオケに
いきたい♪

遊園地に
いきたい

お芋掘り

プールや
海で
泳ぎたい

旅行に
行きたい

おもいっきり
外遊び

ジェット
コースター
に乗りたい

公民館まつりの
ゲームコーナー

バーベキュー
がしたい

みかん狩り

からくり
とか
謎解き

バスと
電車で
街探検

フラネタリウム
に行きたい

お泊まりに
行きたい

たくさん
笑いたい

川遊びに
行きたい

アスレチック

動物園
と
水族館

みんなで
大縄跳び

好きな本の
紹介がしたい

イチゴ狩り

映画に
行きたい

山登り
ハイキング

三密を
したい！

みんなのやりたい！
は、ここ↓↓↓



盆踊り

白いキリンを
見に行きたい

みんなで
遊びたい

キャンプに
行きたい